

(2) 歳 出 (別表5, 9参照)

① 概 要

平成19年度一般会計の歳出決算額は184億9,329万7千円で、予算現額189億8,044万5千円に対し、97.4%の執行率である。

翌年度繰越額は2億8,425万7千円で、繰越明許費繰越額が2億7,274万6千円、事故繰越し繰越額1,151万1千円となっている。したがって、予算執行残額から翌年度繰越額を差し引いた額が不用額として2億289万1千円となっている。

決算額のうち前年度に比べて減少している主なものは、議会費1,249万1千円(7.2%)、教育費8,025万2千円(5.2%)減少しており、民生費3億7,668万7千円(9.8%)、商工費9,444万7千円(14.0%)、公債費9,413万6千円(3.8%)、土木費1億9,451万9千円(14.0%)増加している。概ね予算に即した執行がされていたことを認めた。

決算額を性質別に区分すると次のとおりである。

**性 質 別 決 算 額 比 較 表**

区 分 性 質 別		平成19年度		平成18年度		比較増減	前年度比
		決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比		
		千円	%	千円	%	千円	%
消 費 的 経 費	人 件 費	3,448,610	18.7	3,466,179	19.9	△ 17,569	99.5
	物 件 費	2,151,830	11.6	2,032,141	11.6	119,689	105.9
	維 持 補 修 費	159,102	0.9	166,064	1.0	△ 6,962	95.8
	扶 助 費	2,166,697	11.7	1,943,641	11.1	223,056	111.5
	補 助 費 等	3,630,775	19.6	3,374,639	19.3	256,136	107.6
	小 計	11,557,014	62.5	10,982,664	62.9	574,350	105.2
投 資 的 経 費	普通建設事業費	1,114,564	6.0	951,329	5.5	163,235	117.2
	災 害 復 旧 費	1,190	0	0	0	1,190	皆増
	小 計	1,115,754	6.0	951,329	5.5	164,425	117.3
公 債 費		2,544,935	13.8	2,450,780	14.0	94,155	103.8
積 立 金		152,274	0.8	87,019	0.5	65,255	175.0
投資及び出資金		800	0.0	8,300	0.0	△ 7,500	9.6
貸 付 金		1,895,940	10.3	1,813,290	10.4	82,650	104.6

消費的経費は後年度に形を残さない性質の経費であり、投資的経費はその支出の効果が資本的形成に向けられ、施設等がストックとして将来に残るものに支出される経費である。

なお、予算の流用が多く見受けられたので、流用に関する規準を明文化し、適切に予算執行されるよう要望する。

## ② 款別予算執行状況について

歳出科目は13款に区分されており、その構成及び予算の執行状況は次のとおりである。

### (05) 議会費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	対決算総額比
円	円	円	円	%	%
162,937,000	161,755,536	0	1,181,464	99.3	0.9

本款の執行状況は上表のとおりで、前年度支出済額1億7,424万6千円に比較すると1,249万1千円(7.2%)の減少である。

### (10) 総務費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	対決算総額比
円	円	円	円	%	%
1,719,585,000	1,693,792,028	0	25,792,972	98.5	9.2

本款の執行状況は上表のとおりで、前年度支出済額16億2,456万8千円に比較すると6,922万4千円(4.3%)の増加である。

これは、諸費で5,889万8千円(80.8%)、市民会館管理費で804万2千円(12.6%)、災害対策費で571万7千円(62.6%)、企画費464万3千円(7.4%)、それぞれ減少したものの、選挙費(参議院議員・県議会議員・市長・市議会議員)9,862万7千円(579.6%)、徴税費5,185万4千円(30.9%)、財産管理費418万5千円(5.3%)、電算処理費238万9千円(3.5%)それぞれ増加したことが主な理由である。

また、不用額2,579万3千円は、主に総務管理費の一般管理費において負担金補助及び交付金279万7千円、企画費の負担金補助及び交付金610万9千円、電算処理費の需用費167万3千円がそれぞれ不用となったものである。

#### (15) 民生費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	対決算総額比
円	円	円	円	%	%
4,310,004,000	4,236,038,849	0	73,965,151	98.3	22.9

本款の執行状況は上表のとおりで、前年度支出済額38億5,935万2千円に比較すると3億7,668万7千円(9.8%)の増加である。

これは主に、健康福祉会館費955万4千円(14.4%)、社会福祉施設費で898万6千円(10.9%)それぞれ減少したものの、福祉医療費1億844万3千円(38.7%)、社会福祉総務費8,978万円(6.3%)、児童措置費4,540万3千円(5.6%)、扶助費5,438万円(26.2%)それぞれ増加したためである。

また、不用額7,396万5千円は、主に社会福祉費の障害者福祉費で、障害者自立支援給付において利用者、回数が見込みを下回ったため扶助費が716万8千円、社会福祉総務費において老人保健医療特別会計・介護保険特別会計への繰出金の減により繰出金が1,780万7千円、福祉医療費において重度心身障害者・乳幼児医療等の医療費の増減により扶助費が1,161万5千円、委託料が938万9千円それぞれ不用となったものである。

#### (20) 衛生費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	対決算総額比
円	円	円	円	%	%
2,463,185,000	2,448,504,995	0	14,680,005	99.4	13.2

本款の執行状況は上表のとおりで、前年度支出済額24億578万5千円に比較すると4,272万円(1.8%)の増加である。

これは主に、し尿処理費737万8千円(3.5%)、火葬場費156万7千円(3.7%)それぞれ減少したものの、ごみ減量対策費1,822万9千円(107.6%)、保健衛生総務費1,657万5千円(2.2%)、塵芥処理費897万7千円(1.8%)、生活排水対策費403万8千円(0.5%)それぞれ増加したことによるものである。

また、不用額1,468万円は、主に健康推進対策費の需用費(健康増進センター)で123万1千円、清掃費のごみ減量対策費において、資源集団回収補助金等の減により、負担金補助及び交付金が116万6千円、塵芥処理費の賃金で124万円、委託料で236万3千円、工事請負費で300万6千円それぞれ不用となったものである。

### (25) 労働費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	対決算総額比
円	円	円	円	%	%
229,071,000	227,993,461	0	1,077,539	99.5	1.2

本款の執行状況は上表のとおりで、前年度支出済額1億8,095万1千円に比較すると4,704万3千円(26.0%)増加している。

これは、労働諸費が増加したためである。

### (30) 農林水産業費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	対決算総額比
円	円	円	円	%	%
1,493,249,000	1,395,257,768	90,341,000	7,650,232	93.4	7.5

本款の執行状況は上表のとおりで、前年度支出済額13億858万6千円に比較すると8,667万2千円(6.6%)の増加である。

これは主に、国営かんがい排水関連事業費5,119万円(8.8%)、農村環境改善センター管理費1,396万4千円(77.2%)それぞれ減少したものの、農地費8,361万6千円(87.1%)、農村総合整備事業費4,397万1千円(11.7%)、防衛施設周辺整備事業費998万円(皆増)それぞれ増加したことによるものである。

また、不用額は765万円であるが、1節につき100万円以上の不用額はなかった。

### (35) 商工費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	対決算総額比
円	円	円	円	%	%
771,579,000	769,799,715	0	1,779,285	99.8	4.2

本款の執行状況は上表のとおりで、前年度支出済額6億7,535万3千円に比較すると9,444万7千円(14.0%)の増加である。

これは主に、商工総務費で369万5千円(9.8%)、商工振興費で8,941万8千円(14.2%)増加したためである。

#### (40) 土木費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	対決算総額比
円	円	円	円	%	%
1,830,667,000	1,582,370,048	193,916,000	54,380,952	86.4	8.6

本款の執行状況は上表のとおりで、前年度支出済額13億8,785万1千円に比較すると1億9,451万9千円(14.0%)の増加である。

これは主に、道路新設改良費で2,243万3千円(9.4%)、街路事業費で5,846万円(35.3%)、道路維持費834万5千円(9.9%)それぞれ減少したものの、都市下水費1億2,605万6千円(20.9%)、公営住宅建設費8,291万4千円(1277.0%)、防衛施設周辺整備事業費7,776万2千円(331.1%)それぞれ増加したことによるものである。

なお、翌年度繰越額1億9,391万6千円は、防衛施設周辺整備事業費で930万6千円、道路新設改良費で4,493万2千円、公営住宅建設費で1億3,967万8千円の繰越によるものである。

また、不用額の5,438万1千円は、主に街路事業費の委託料268万3千円、防衛施設周辺整備事業費の補償補填及び賠償金と公有財産購入費で土地・建物の交渉が難行したことにより、4,444万4千円が不用となったことによるものである。

#### (45) 消防費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	対決算総額比
円	円	円	円	%	%
710,394,000	709,331,378	0	1,062,622	99.9	3.8

本款の執行状況は上表のとおりで、前年度支出済額6億6,004万円に比較すると4,929万1千円(7.5%)の増加である。

これは、常備消防費が1,513万4千円(2.6%)、減少したものの、消防施設費で5,782万4千円(677.0%)、非常備消防費で655万8千円(8.3%)それぞれ増加したことによるものである。

#### (50) 教育費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	対決算総額比
円	円	円	円	%	%
1,476,624,000	1,458,944,565	0	17,679,435	98.8	7.9

本款の執行状況は上表のとおりで、前年度支出済額15億3,919万7千円に比較すると8,025万3千円(5.2%)の減少である。

これは主に、学校振興費1,177万1千円(11.9%)、公民館費1,080万3千円(22.8%)、給食施設運営費926万1千円(7.0%)がそれぞれ増加したものの、保健体育総務費5,559万9千円(79.8%)、学校管理費(小)1,788万7千円(11.8%)、幼稚園費1,408万7千円(6.8%)、市史編集費1,405万6千円(29.2%)がそれぞれ減少したことによるものである。

また、不用額1,767万9千円は主に、図書館費において負担金補助及び交付金で154万円、市史編集費において役務費が107万9千円それぞれ不用となったことによるものである。

#### (55) 災害復旧費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	対決算総額比
円 1,211,000	円 1,189,882	円 0	円 21,118	% 98.3	% 0.0

本款の執行状況は上表のとおりで、前年度支出がないため119万円の皆増である。

これは、台風による災害で、農業施設災害復旧費119万円が支出されたことによる。

また、不用額2万1千円は、農業施設災害復旧費の事務費の精算により不用となったものである。

#### (60) 公債費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	対決算総額比
円 2,546,105,000	円 2,545,044,686	円 0	円 1,060,314	% 100.0	% 13.8

本款の執行状況は上表のとおりで、前年度支出済額24億5,090万9千円に比較すると9,413万6千円の増加である。

支出済額のほとんどが市債償還元金と利子である。

一般会計の前年度末における未償還元金は193億7,759万2千円であり、これに当年度借入金額7億1,310万円を加え、この合計額から当年度元金償還額21億3,696万1千円を差し引いた額179億5,373万1千円が当年度末未償還元金である。

また、不用額106万円は、主に一般・特別会計口座の当座借越の発生に伴う一時借入金利子の支払の減少により、償還金利子及び割引料が96万3千円不用となったものである。

(65) 諸支出金

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	対決算総額比
円 1,263,279,000	円 1,263,273,673	円 0	円 5,327	% 100.0	% 6.8

本款の執行状況は上表のとおりで、前年度支出済額11億9,801万9千円に比較すると6,525万4千円(5.4%)の増加である。

支出の主なものは、土地開発公社貸付金11億1,100万円、財政調整基金費1億3,878万8千円、鉄道経営対策事業基金費997万5千円である。

(99) 予備費

議決予算額	充用額	不用額	充当率
円 17,000,000	円 14,445,000	円 2,555,000	% 85.0

当年度における予備費の充用件数は5件で、255万5千円が不用額となっている。